

九州大学統合移転スケジュール(案)について

概要

九州大学は、二十一世紀の知識基盤社会に対応した、世界最高水準の教育研究拠点の形成を目指しています。また、変革し躍進する九州大学として、自然環境と共生し、最新の情報通信技術を活用するなどして、広く地域社会に開かれた、新たな二十一世紀型キャンパスの構築を進めております。

このことを踏まえて、平成16年9月には、新しい移転スケジュールが決定され、これまでこのスケジュールに沿って、順調に統合移転を進めているところであります。

平成16年に策定された統合移転スケジュールでは、六本松キャンパスは箱崎キャンパスに暫定移転後、伊都キャンパスに移転する計画ですが、六本松関連施設を、新しい手法を導入し整備するなどにより、伊都キャンパスへの直接移転の方向で、現在、文部科学省と協議を進めております。

内容

1. 伊都キャンパスへの移転は、平成17年度から移転を開始し平成31年度に完了する計画で進めている。
2. 今回の、六本松キャンパスの機能を伊都キャンパスに直接移転させる計画は、既存の方針の枠組みの中で、六本松キャンパスの売却財源を原資として、移転に必要な施設整備財源を捻出しようとするもの。
3. 具体には、六本松キャンパスを担保に民間金融機関から借入金をを行い、校舎等の建設を行い、六本松キャンパス移転跡地の処分費をもって返済に充てようとするもの。
4. 計画が順調に進めば、平成20年度中に整備が完了するので、平成21年度の新入生から伊都キャンパスで受け入れが可能と考えている。
5. 今後、この計画について国の理解が得られるよう、文部科学省と協議を進めることとなるが、計画に対する文部科学省の採否は8月末の概算要求時に判明することとなり、国としての決定は12月末の予算編成を待つこととなる。
6. 本学としては、今後とも伊都キャンパスの整備に全力を挙げて取り組む所存

【用語解説】

六本松キャンパスの部局
比較社会文化学府、比較社会文化研究院、言語文化研究院、高等教育開発推進センター

【お問い合わせ先】

企画部統合移転推進室長 宮崎 利展

電話 : 092-642-2240

FAX : 092-642-1002

Mail : suisinst@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学統合移転スケジュール（案）について

平成16年9月の移転スケジュールでは、六本松地区（全学教育、比較社会文化、言語文化他）を箱崎地区へ暫定移転としていたところ、今般、六本松地区の移転計画について、文部科学省と協議を進める状況が整ったと判断されたことにより、移転スケジュールを見直し、伊都地区への直接移転に変更する。

他は従前のとおりとする。

新移転スケジュール（案）

時 期	第 ステージ 平成17年度～平成19年度	第 ステージ 平成20年度～平成23年度	第 ステージ 平成24年度～平成31年度
新キャンパスへの 移転	工学系 理系図書館 【約4.3千人】	全学教育 比較社会文化,言語文化他 理系図書館 【約4.3千人】 < 基幹整備及び 新手法による整備 >	理学系 情報基盤センター 中央図書館 文系 農学系 その他 【約7.0千人】
	< 用地再取得	平成25年度完了 >	

■ : 今回見直し分

【 】内数値は移転人数の概数を示す。

参考 移転スケジュール（平成16年9月発表）

時 期	第 ステージ 平成17年度～平成19年度	第 ステージ 平成20年度～平成23年度	第 ステージ 平成24年度～平成31年度
新キャンパスへの 移転	工学系 理系図書館 【約4.3千人】	< 基幹整備及び 新手法による整備 >	理学系(H26),情報基盤センター(H27) 理系図書館 (H28),中央図書館(H29) 文系(H29,H30),全学教育(H29) 農学系,その他(H31) 【約11.3千人】
	< 用地再取得	平成25年度完了 >	
六本松から箱崎へ の移転		全学教育 比較社会文化,言語文化他 【約4.1千人】	

() 内数値の移転年度は、財政状況により変動することがある。

【 】内数値は移転人数の概数を示す。